

# ◆ 平成27年度決算について ◆

経理部経理課

平成27年度決算が、去る5月26日に開催された学園理事会及び評議員会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

平成27年度は教職員・学生環境整備を目的とした寮の2棟目となる「Dormitory いちよう」が竣工し、さらに本学として2校目の看護専門学校となる「看護専門学校三郷校」が開学となりました。

大学病院においては、震災等の災害時も病院機能を維持するため4期目となる耐震補強工事を行い、また、センター機能強化を図るため、救命救急センターICU拡張工事を行いました。

越谷病院においては、200床増床に伴う新棟建設工事が着工し、また、高エネルギー放射線治療システム（ライナック）の老朽化に伴い、ライナック棟新築工事を行いました。

日光医療センターにおいては、熱源設備の経年劣化による更新工事を行いました。

この様な状況下において、平成27年度決算は、3病院（大学病院、越谷病院、日光医療センター）を中心に増収対策に取り組み、各部署においても事業の見直しや経費削減を積極的に推し進め、収支改善努力に努めた結果、基本金組入前当年度収支差額（事業活動収入－事業活動支出）は、予算の6億50百万円を10億54百万円上回る17億4百万円の黒字を確保することができました。（前年度は16億76百万円）

以下、事業概要及び事業活動収支・資金収支計算書を掲載し、特に目立った動きを中心に簡潔に説明します。

## ■ 事業概要

\* 差異＝予算－実績（マイナス表示は予算超過を表しています）

（単位 百万円）

27年度事業内容	結果・備考等	27年度予算	実績	差異
<b>《医科大学》</b>				
<b>1. 教学関係</b>				
①医学部				
1) 全国共用試験	1) CBT:コンピューターによる医学知識試験の実施 OSCE:「医療面接」「頭頸部」「胸部」等7つのステーションでの模擬患者を相手とする実技試験の実施	5.2 2.1	4.7 2.4	0.5 -0.3
2) 早期医学・地域医療体験	2) 期間集中型科目「コミュニティーヘルスインターンシップ」「アドバンスドコミュニティーヘルスインターンシップ」、選択科目「地域包括医療実習」の開設による本学附属病院や学外の福祉施設等での体験学習の実施	3.1	2.9	0.2
3) 学生の海外研修	3) 学内試験選抜の学生の海外大学病院等における約2週間の見学実習の実施	14.9	15.0	-0.1
4) 医師国家試験対策合宿	4) 5・6年生を対象に、卒業試験・医師国家試験の合格に向けて、短期集中合宿を実施	9.3	9.6	-0.3
5) 国際交流等の拡充・充実	5) 国際交流の拡充や支援、海外大学との提携等の検討、海外視察の実施	3.0	0.0	3.0
6) がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	6) 本学国公立8大学の共同申請による「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」に参加	9.0	8.0	1.0
7) 国際交流推進	7) 海外の大学・教育研究機関等との交流及び国際協力事業の推進	7.9	4.7	3.2
8) 教務事務システム更新	8) 学生データ一元管理及び業務効率化のための新システムの導入	58.2	37.6	20.6
9) 出席管理システムの導入	9) 講義毎の出席確認を出席票による記入方式からICカード認証方式に変更	7.3	0	7.3
②看護学部				
1) 領域別臨床看護学実習	1) 小児・母性・成人・老年・精神・地域の各領域における実習の実施	4.1	4.0	0.1
2) ふれあい看護学実習	2) 地域の健康な人々とのふれあいを通して、価値観や健康保持のための看護の役割等の学習	0.9	1.2	-0.3
3) 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	3) 病院において、患者の心理状態や良好な人間関係の構築等の学習及び看護援助の体験学習	0.6	1.2	-0.6
4) 地域看護学実習Ⅱ	4) 企業の健康管理、学校保健、産業保健活動の実態を環境調整・安全管理の視点から指導保健師と共に地域活動を実践	0.8	0.9	-0.1
5) 国家試験対策	5) 国家試験対策コーナー等の環境整備、模擬試	4.4	2.9	1.5

6) 学生の海外研修	験・特別講義等の実施	3. 6	2. 3	1. 3
7) 成績管理システム更新	6) 海外の医療、看護業務の学習及び国際感覚を習得するため海外にて1週間程度の実習の実施 7) 学生情報及び成績の一元管理、カリキュラム変更に対応するために新システムを導入	22. 6	0. 3	22. 3
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) 教職員・学生寮(ドミトリーいちょう)建設工事	1) 教職員・学生寮の建設(建設費560. 3、売店から一般室への用途変更工事 13. 9、水道加入権8. 5、LAN導入費 5. 9、カーテンレール設置費2. 5)	591. 1	566. 2	24. 9
2) 関記念学生館居室電気給湯器更新工事	2) 電気給湯器144台の更新	29. 5	29. 6	-0. 1
3) 病児保育室設置工事	3) ドミトリーいちょう1階会議室から病児保育室へ変更	23. 8	23. 2	0. 6
4) 臨床棟防災装置更新工事	4) 火災警報受信機更新	18. 8	0. 0	18. 8
5) 臨床医学棟給湯リニューアル工事	5) ボイラーの更新、給湯設備リニューアル工事	15. 8	10. 8	5. 0
6) 教育研究・実習用機器備品	6) 教育研究・実習用機器備品の整備充実	581. 4	388. 4	193. 0
7) 図書	7) 教育研究用図書の整備充実	42. 2	36. 5	5. 7
<b>3. 管理運営関係</b>				
1) 図書館利用環境の整備	1) 利用環境整備(LAN回線の更新・LAN工事1 5. 9、利用者用コンピュータの更新2. 3)	18. 1	14. 6	3. 5
2) 看護師確保対策	2) 就職説明会及び病院見学会の実施、就職セミナーの参加、看護師募集サイトの機能等充実	11. 5	9. 5	2. 0
3) ホームページ更新・DPC分析ソフト導入	3) ホームページ更新及びDPC分析業務の効率化により、迅速に報告ができる体制の構築	9. 9	0. 0	9. 9
4) 会計ソフト・資産管理ソフトの導入	4) 減価償却等のソフト開発及び導入	9. 9	9. 4	0. 5
5) 電子ペーパーシステムの導入	5) 教授会等配布資料のペーパーレスによる紙資源等の削減	6. 5	0. 0	6. 5
<b>《大学病院》</b>				
<b>1. 医療活動関係</b>				
1) 統合医療情報システム	1) 電子カルテシステム、PACSシステムの維持管理	509. 0	542. 2	-33. 2
2) 栃木県ドクターヘリ事業	2) ドクターヘリ運航業務の委託他	202. 9	216. 7	-13. 8
3) 教育医療棟設備機器の整備	3) 教育医療棟完成に伴う機器備品及び什器の整備	92. 5	92. 5	0. 0
4) 教育医療棟へ移設後の院内設備機器の整備	4) 教育医療棟への移設に伴う院内設備機器の整備	40. 0	40. 0	0. 0
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) 本館耐震工事(4/7期)	1) 耐震補強工事(耐震工事750. 0、設計・監理費31. 0)	781. 0	514. 1	266. 9
2) 本館病棟空調設備リニューアル工事(1/4期)	2) 空調設備更新工事(リニューアル工事 300. 0、設備更新工事240. 0、電源増強工事43. 0、設計・監理費24. 0)	607. 0	206. 6	400. 4
3) 救命救急センターICU拡張工事	3) ICU病床増床工事(拡張工事370. 0、設計・監理費30. 0)	400. 0	316. 7	83. 3
4) 中央監視装置更新工事(1/3期)	4) 中央監視装置の更新工事	260. 0	253. 8	6. 2
5) 教育医療棟完成後の本館整備工事	5) 本館改修工事(改修工事230. 0、設計・監理費18. 0)	248. 0	189. 9	58. 1
6) 医療設備機器整備	6) 大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	600. 0	600. 0	0. 0
7) 医療画像管理システムの更新	7) PACSシステムの更新	496. 8	0. 0	496. 8
8) 教育医療棟へ移設後の院内設備機器の整備	8) 救命救急センターICU拡張に伴う機器備品の購入	180. 0	180. 0	0. 0
9) 臨床研修機器整備	9) 臨床研修用機器、OA機器の購入	50. 0	50. 0	0. 0

<b>《越谷病院》</b>				
<b>1. 医療活動関係</b>				
1) オーダリングシステム	1) オーダリングシステムの構築、各種システム更新	460.6	393.0	67.6
2) SPD業務委託拡充	2) 薬剤部における在庫管理、消費データ管理等の業務の拡充	35.5	1.0	34.5
3) 病室用備品の更新	3) 吸引機、オーバーテーブルの購入	7.0	0.0	7.0
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) 郵政宿舎(南側)敷地取得及び新棟建設工事	1) 隣地(郵政宿舎)取得(土地取得費1,813.8、新棟建設工事着手金1,500.0、移転補償費824.0、解体撤去費235.0)	4,372.8	3,964.0	408.8
2) ライナック棟新築工事	2) ライナック機器更新に伴う建設工事	400.0	396.0	4.0
3) 北棟CT室跡地更衣室改修工事	3) 読影室に改修	98.6	98.0	0.6
4) RIモニター設備更新及び排水設備補修工事	4) 経年劣化による更新	83.0	31.0	52.0
5) 瓦曽根外来棟新築工事	5) 外来棟新築(新築工事340.0、ブリッジ工事50.0)	390.0	33.0	357.0
6) 医療設備機器整備	6) 大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	200.0	200.0	0.0
7) オーダリングシステム更新	7) オーダリングシステムのリース機器導入及び更新	1,673.3	1,211.0	462.3
8) 放射線機器整備	8) ライナック棟新設に伴う機器の購入	480.0	0.0	480.0
9) 臨床研修機器整備	9) 臨床研修用機器、OA機器の購入	5.0	5.0	0.0
<b>《日光医療センター》</b>				
<b>1. 医療活動関係</b>				
1) 業務外注化	1) 施設管理、検体検査、医事業務、給食、情報処理等の外部委託	269.5	265.9	3.6
2) 医療情報システムの充実	2) 電子カルテシステム及び部門システムの充実	156.3	153.0	3.3
3) 診療報酬改定に伴うシステム変更	3) 医事システム及び電子カルテシステム他の変更作業	3.2	1.1	2.1
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) 熱源設備更新工事(1/2期)	1) 機械室熱源設備の経年劣化による更新工事	86.4	79.9	6.5
2) 手術室空調更新工事	2) 手術室3室パッケージエアコン更新工事	15.0	0.0	15.0
3) 外来診察室改修工事	3) 診療科新設に伴う外来改修工事	11.0	0.0	11.0
4) ナースコール更新工事	4) 4階西病棟ナースコール更新工事	8.7	8.7	0.0
5) 医療設備機器整備	5) 大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	150.0	149.7	0.3
6) 婦人科電子カルテ導入	6) 婦人科新設による診療体制の整備	11.9	0.0	11.9
7) 災害拠点病院設備整備	7) DMAT関連装備品の購入	9.8	6.9	2.9
8) へき地診療所の設備整備	8) 各種医療機器の購入	5.4	0.0	5.4
<b>《看護専門学校壬生校》</b>				
<b>1. 教学関係</b>				
1) 領域別看護学実習	1) 各領域において3週間1クールとして病院や施設での実習を実施	3.5	3.9	-0.4
2) 体験学習	2) 看護に必要な技術を習得するため、技術演習や小グループによる体験学習を実施	1.3	1.1	0.2
3) 専任教員の研修・研究	3) 看護教育内容、方法の改善や教員の質の向上を図るため、学外の研修会や研究会への参加	1.3	0.7	0.6
4) 全国模擬試験	4) 看護師国家試験の模擬試験の実施	1.0	0.9	0.1
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) アスベスト除去工事	1) 教員室・事務室・講師控室・6番教室を除く校内の全ての天井のアスベスト除去	41.5	38.0	3.5
2) 実習室の設置	2) ドミトリーさくら内 1F・実習室設置のための改修工事	6.0	2.0	4.0
3) 学生情報・成績管理システム導入	3) 前後期末試験成績や学籍簿の管理のため新システムを導入	11.4	0.0	11.4
<b>3. 管理運営関係</b>				
1) 看護学生募集パンフレット制作	1) パンフレット・ポスターの作成	1.9	2.1	-0.2

《看護専門学校三郷校》				
<b>1. 教学関係</b>				
1) 宿泊学習の実施	1) 人間関係形成とクラスづくりを目的とした宿泊学習	0.8	0.7	0.1
2) 入学前教育の実施	2) 入学前にeラーニングを活用し、看護を学ぶにあたり、最低限必要な学力・意欲・基礎的スキルを養成する	0.5	0.6	-0.1
3) 外部講師による特別講演の実施	3) 外部講師による接遇教育の実施	0.4	0.4	0.0
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) 車輛の購入	1) 公用・実習時用車輛の購入	1.2	0.6	0.6
2) 図書を購入	2) 図書室の整備充実	0.7	1.1	-0.4
<b>3. 管理運営関係</b>				
1) 学校パンフレット制作	1) パンフレット・ポスターの作成	1.2	1.4	-0.2
2) 看護学生募集要項の制作	2) 入学試験募集要項の作成	0.7	0.9	-0.2

## ■ 事業活動収支計算書の概要

平成27年度決算につきまして、事業活動収支計算書より説明いたします。(資料1)

文部科学省から平成25年4月22日付けで、「学校法人会計基準の一部を改正する省令」(文部科学省令第15号)が公布されました。これにより平成27年度以降の会計年度に係る会計処理に適用され、計算書類等が新会計基準の様式となりました。従来の消費収支計算書が事業活動収支計算書となって、経常的な収支(1.教育活動収支と2.教育活動外収支)と臨時的な収支(3.特別収支)に区分される「区分経理」が導入され、それらの区分ごとに収支状況が把握できるようになりました。

### 1. 教育活動収支

#### 【 教育活動収入の部 】

##### ● 学生生徒等納付金 (構成比6.3%)

医学部、大学院医学研究科、看護学部、大学院看護学研究科、助産学専攻科、看護専門学校壬生校、看護専門学校三郷校の学生生徒納付金収入が、予算比72百万円(1.4%)増の53億3百万円となりました。

##### ● 寄付金 (構成比1.1%)

予算比比20百万円(2.2%)減の9億16百万円となりました。

##### ● 経常費等補助金 (構成比3.4%)

予算比2億27百万円(7.3%)減の28億62万円となりました。

##### ● 医療収入 (構成比87.1%)

3病院(大学病院・越谷病院・日光医療センター)の医療収入の総額は、予算比28億45百万円(4.0%)増の73億35百万円となりました。

- ・大学病院 : 437億38百万円
- ・越谷病院 : 249億50百万円
- ・日光医療センター : 46億47百万円

#### 【 教育活動支出の部 】

##### ● 人件費 (構成比39.0%)

予算比7億51百万円(2.3%)減の321億50百万円となりました。

教員人件費は、85億73百万円、職員人件費は、218億66百万円、退職給与引当金繰入額は17億12百万円となりました。

##### ● 教育研究経費 (構成比57.2%)

予算比26億41百万円(5.9%)増の471億51百万円となりました。

このうち医療経費(構成比38.5%)は、3病院総額で予算比38億68百万円(13.9%)増の317億46百万円となりました。

- ・大学病院 : 203億21百万円(医療経費率48.1%)
- ・越谷病院 : 102億27百万円(医療経費率41.6%)
- ・日光医療センター : 11億97百万円(医療経費率26.3%)

また、一般経費は、予算比9億91百万円(9.5%)減の94億18百万円となりました。

減価償却費は、予算比2億36百万円(3.8%)減の59億87百万円となりました。

##### ● 管理経費 (構成比3.3%)

予算比56百万円(2.0%)減の27億40百万円となりました。

##### ● 徴収不能額等 (構成比0.13%)

予算比16百万円(15.6%)減の81百万円となりました。

## 2. 教育活動外収支

### 【 教育活動外収入の部 】

- 受取利息・配当金（構成比0.1%）

予算比4百万円（5.2%）減の73百万円となりました。

### 【 教育活動外支出の部 】

- 借入金等利息（構成比0.03%）

予算比4百万円（19.0%）増の25百万円となりました。

## 3. 特別収支

### 【 特別収入の部 】

- その他の特別収入（構成比0.6%）

予算比12百万円（2.4%）増の4億69百万円となりました。

現物寄付が予算比29百万円増、施設設備補助金（国庫）が1億百万円減、施設設備補助金（地公体）が58百万円増となっています。

### 【 特別支出の部 】

- 資産処分差額（構成比0.04%）

予算比1億18百万円（76.1%）減の37百万円となりました。

- 法人負担金（構成比0.3%）

予算比9百万円（3.4%）増の2億71百万円となりました。

以上、3つの活動区分の合計の事業活動収入は、予算比28億12百万円（3.5%）増の842億44百万円となりました。

一方、事業活動支出は、予算比17億58百万円（2.2%）増の825億40百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は、予算比10億54百万円（161.3%）増の17億4百万円の収入超過（黒字）となりました。なお、事業活動収支差額比率は2.02%となりました。

また、内部留保額（基本金組入前当年度収支差額+減価償却額+資産処分差額）は、予算比7億33百万円（9.9%）増の81億23百万円となりました。

## ■ 資金収支計算書の概要

次に、資金収支計算書について説明します。(資料2)

資金収支計算書は、当該会計年度のすべての収入・支出の内容並びに支払資金の収入・支出の顛末を明らかにした計算書になります。

事業活動収支計算書に計上されていない「借入金収入」「前受金収入」「借入金等返済支出」「施設関係支出」「設備関係支出」「資産運用支出」等が資金の収入・支出を伴うため計上されています。

以下、事業活動収支計算書と重複するものを除いて主な項目について説明します。

### 【 収入の部 】

#### ● 借入金等収入

運転資金として、新たに20億円を借入れしました。

### 【 支出の部 】

#### ● 借入金返済支出

市中金融機関からの長期借入金の約定償還は10億28百万円となりました。

#### ● 施設関係支出

予算比16億43百万円(18.2%)減の73億74百万円となりました。

主なものは、大学のDormitoryいちょう建設工事(当年度支払分)5億70百万円、大学病院の救命救急センターICU整備工事3億12百万円、本館耐震工事5億14百万円、空調設備リニューアル工事2億7百万円、中央監視装置更新工事2億54百万円、越谷病院の新棟土地取得・建設工事39億64百万円、ライナック棟新築工事3億96百万円、日光医療センターの熱源リニューアル更新工事71百万円がありました。

#### ● 設備関係支出

予算比14億66百万円(24.5%)減の45億10百万円となりました。

#### ● 資産運用支出

計画どおり減価償却特定資産を2億円積み増したことにより60億円となりました。

その結果、翌年度繰越支払資金は予算比13億7百万円(16.1%)増の94億10百万円となりました。

以上、平成27年度決算の概要をご説明しました。

平成27年度の基本金組入前当年度収支差額は17億4百万円の黒字となりましたが、過去5年間における推移を見ると年々減少しています。平成24年度の46億50百万円に比べると、約3分の1になっていることから、本学の財政基盤は決して安定しているとは言えず、今後も、継続して行われている事業に加え、新規事業も計画されていることを鑑み、教職員一人ひとりがコスト意識を持ち、経費削減はもとより増収につながる方策を打ち出すなど積極的に取り組むことが重要課題となっています。

なお、獨協学園の決算、事業報告書については、獨協学園のホームページ<http://www.dac.ac.jp/>をご覧ください。

# 平成 27 年度事業活動収支計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円)

年 度		平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額	差 異	備 考	
科 目						
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	5,231	5,303	△ 72	
		手数料	203	197	6	
		寄付金	896	916	△ 20	
		経常費等補助金	3,090	2,862	228	
		(国庫補助金収入)	( 2,539 )	( 2,274 )	( 265 )	
		(地方公共団体補助金収入)	( 549 )	( 588 )	( △ 39 )	
		(その他補助金収入)	( 2 )	( 0 )	( 2 )	
		付随事業収入	406	405	1	
	医療収入	70,490	73,335	△ 2,845		
	雑収入	582	674	△ 92		
	教育活動収入計 A	80,898	83,692	△ 2,794		
	支出	人件費	32,901	32,150	751	
		教育研究経費	44,510	47,151	△ 2,641	
		(医療経費)	( 27,878 )	( 31,746 )	( △ 3,868 )	
		(一般経費)	( 10,409 )	( 9,418 )	( 991 )	
		(減価償却費)	( 6,223 )	( 5,987 )	( 236 )	
		管理経費	2,796	2,740	56	
		(一般経費)	( 2,434 )	( 2,345 )	( 89 )	
(減価償却費)		( 362 )	( 395 )	( △ 33 )		
徴収不能額等	97	81	16			
教育活動支出計 B	80,304	82,122	△ 1,818			
教育活動収支差額 C(A-B)		594	1,570	△ 976		
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	77	73	4	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計 D	77	73	4	
	支出	借入金等利息	21	25	△ 4	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計 E	21	25	△ 4	
教育活動外収支差額 F(D-E)		56	48	8		
経常収支差額 G(C+F)		650	1,618	△ 968		
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	457	469	△ 12	
		(うち現物寄付金)	( 41 )	( 70 )	( △ 29 )	
		(うち施設設備補助金・国庫)	( 136 )	( 35 )	( 101 )	
		(うち施設設備補助金・地公体)	( 280 )	( 338 )	( △ 58 )	
		(うち過年度修正額)	0	26	△ 26	
	法人負担金収入	0	10	△ 10		
	特別収入計 H	457	479	△ 22		
	支出	資産処分差額	155	37	118	
		その他の特別支出	0	85	△ 85	
法人負担金支出		262	271	△ 9		
特別支出計 I		417	393	24		
特別収支差額 J(H-I)		40	86	△ 46		
(予備費) K		40	0	40		
基本金組入前当年度収支差額 L(C+F+J-K)		650	1,704	△ 1,054		
基本金組入額合計 M		△ 11,553	△ 9,439	△ 2,114		
当年度収支差額 N(L+M)		△ 10,903	△ 7,735	△ 3,168		
前年度繰越収支差額 O		△ 81,064	△ 77,523	△ 3,541		
基本金取崩額 P		0	0	0		
翌年度繰越収支差額 Q(N+O+P)		△ 91,967	△ 85,258	△ 6,709		
参 考	事業活動収入計	81,432	84,244	△ 2,812		
	事業活動支出計	80,782	82,540	△ 1,758		

## 平成 27 年度資金収支計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円)

年 度		平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額	差 異	備 考
科 目					
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	5,231	5,303	△ 72	
	手数料収入	203	197	6	
	寄付金収入	894	909	△ 15	
	補助金収入	3,506	3,236	270	
	(国庫補助金収入)	( 2,675 )	( 2,309 )	366	
	(地方公共団体補助金収入)	( 829 )	( 927 )	△ 98	
	(その他補助金収入)	( 2 )	( 0 )	2	
	資産売却収入	0	0	0	
	付随事業・収益事業収入	406	405	1	
	医療収入	70,490	73,335	△ 2,845	
	受取利息・配当金収入	77	73	4	
	雑収入	582	700	△ 118	
	借入金等収入	2,000	2,000	0	
	前受金収入	1,479	1,284	195	
	その他の収入	22,680	19,301	3,379	
資金収入調整勘定(△)	△ 14,590	△ 16,205	1,615		
法人負担金収入	0	10	△ 10		
前年度繰越支払資金	9,186	12,552	△ 3,366		
合 計	102,144	103,100	△ 956		
支 出 の 部	人件費支出	31,854	31,687	167	
	教育研究経費支出	38,287	41,080	△ 2,793	
	管理経費支出	2,434	2,430	4	
	借入金等利息支出	21	25	△ 4	
	借入金等返済支出	1,028	1,028	0	
	施設関係支出	9,017	7,374	1,643	
	設備関係支出	5,976	4,510	1,466	
	資産運用支出	6,000	6,000	0	
	その他の支出	12,561	13,004	△ 443	
	予備費	40	0	40	
	資金支出調整勘定(△)	△ 13,439	△ 13,719	280	
法人負担金支出	262	271	△ 9		
翌年度繰越支払資金	8,103	9,410	△ 1,307		
合 計	102,144	103,100	△ 956		

### 資産、負債の状況

(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部				負債および純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
【資産の部】				【負債の部】			
固 定 資 産	76,143	70,403	5,740	固 定 負 債	23,144	21,202	1,942
有形固定資産	69,533	64,034	5,499	流 動 負 債	14,869	13,978	891
特定資産	6,000	5,800	200	【純資産の部】			
その他の固定資産	610	569	41	基 本 金	149,285	139,846	9,439
流 動 資 産	25,897	27,100	△ 1,203	繰越収支差額	△ 85,258	△ 77,523	△ 7,735
合 計	102,040	97,503	4,537	合 計	102,040	97,503	4,537

【解説】 この表は年度末における財務状態を表わしたもので、B/S（バランスシート）とも言われます。資産とは、教育研究診療に使用または運用される大学の財産であり、負債とはその財産の調達資金のうち、将来返さなければならないお金（他人資金）です。基本金と繰越収支差額は、調達資金のうち外部へ返さなくてもよいもので、大学に完全に帰属する資金総額であり、純資産（自己資金）と呼ばれています。

# 活動区分資金収支計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位 円)

	科 目	金 額	摘 要
教育活動による資金収支	収入		
	学生生徒等納付金収入	5,303,460,000	
	授 業 料 収 入	3,045,340,000	
	入 学 金 収 入	236,770,000	
	実 験 実 習 料 収 入	126,000,000	
	施設設備資金収入	82,500,000	
	教育充実費収入	1,812,850,000	
	手数料収入		
	入学検定料収入	174,745,000	
	試 験 料 収 入	17,111,000	
	証明手数料収入	764,500	
	大学入試センター試験実施手数料収入	4,555,804	
	特別寄付金収入	717,652,236	
	一般寄付金収入	191,190,000	
	経常費等補助金収入	2,862,426,690	
	国庫補助金収入	2,274,409,500	
	地方公共団体補助金収入	588,017,190	
	付随事業収入		
	補助活動収入	142,332,000	
	公開講座事業収入	516,840	
	受託事業収入	262,511,787	
	医療収入		
	入 院 収 入	45,206,668,882	
	室料差額収入	1,924,620,539	
	外 来 収 入	25,590,602,367	
	医 療 雑 収 入	612,875,650	
	雑収入		
	施設設備利用料収入	467,709,711	
	廃品売却収入	2,026,115	
	雑 収	204,250,180	
	教育活動資金収入計	83,686,019,301	
	支出		
	人件費支出		
	教員人件費支出	8,572,906,235	
	職員人件費支出	21,865,622,390	
	退職金支出	1,248,745,216	
	教育研究経費支出		
	消耗品費支出	1,195,058,227	
	光熱水費支出	1,388,288,850	
	旅費交通費支出	115,729,743	
	印刷製本費支出	94,936,167	
	通信運搬費支出	68,528,022	
	奨学費支出	5,094,470	
	学生生徒諸費支出	31,216,468	
	実験実習費支出	79,001,662	
	研修諸費支出	66,566,365	
	研究助成費支出	10,964,862	
	修繕費支出	912,537,809	
	業務委託費支出	3,647,378,248	
	支払手数料支出	106,810,030	
損害保険料支出	126,527,346		
貸借料支出	1,453,299,287		
負担金支出	66,586,511		
会議費支出	3,994,488		
行事費支出	13,862,772		
医療経費支出	31,664,928,953		
雑 支 出	29,168,930		
管理経費支出			
消耗品費支出	118,297,099		
光熱水費支出	185,180,047		
旅費交通費支出	25,814,653		
印刷製本費支出	56,995,167		

(単位 円)

		科 目	金 額	摘 要
教育活動による資金収支	支出	通信運搬費支出	22,743,526	
		研修諸費支出	7,387,700	
		修繕費支出	127,548,482	
		業務委託費支出	819,875,356	
		支払手数料支出	61,001,870	
		損害保険料支出	3,457,967	
		賃借料支出	304,464,508	
		負担金支出	20,549,902	
		会議費支出	291,862	
		公租公課支出	32,054,876	
		広告費支出	46,595,251	
		福利費支出	73,359,683	
		補助金返還金支出	3,218,278	
		雑支出	435,955,229	
	教育活動資金支出計	75,112,544,507		
	差引	8,573,474,794		
	調整勘定等	△ 1,377,091,892		
	教育活動資金収支差額	7,196,382,902		
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	373,609,200	
		国庫補助金収入(施設)	35,073,000	
		地方公共団体補助金収入(施設)	338,536,200	
		減価償却引当特定資産取崩収入	1,800,000,000	
		施設整備等活動資金収入計	2,173,609,200	
	支出	施設関係支出	7,374,272,604	
		土地支出	3,617,177,943	
		建物支出	1,683,654,319	
		構築物支出	85,968,864	
		建設仮勘定支出	1,974,089,278	
		施設利用権支出	9,182,200	
		建物等賃貸借差入保証金支出	4,200,000	
		設備関係支出	4,509,897,033	
		教育研究用機器備品支出	4,409,109,758	
		管理用機器備品支出	34,678,192	
		図書支出	37,157,163	
		車輦支出	1,110,000	
		教育研究用ソフトウェア	18,402,720	
		管理用ソフトウェア	9,439,200	
		減価償却引当特定資産繰入支出	2,000,000,000	
		施設整備等活動資金支出計	13,884,169,637	
	差引	△ 11,710,560,437		
	調整勘定等	608,135,648		
	施設整備等活動資金収支差額	△ 11,102,424,789		
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)			△ 3,906,041,887	

(単位 円)

		科 目	金 額	摘 要
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	2,000,000,000	
		長期借入金収入	2,000,000,000	
		第3号基本金引当特定資産取崩収入	1,000,000,000	
		退職給与引当特定資産取崩収入	3,000,000,000	
		奨学貸付金回収収入	84,458,000	
		預り金受入収入	701,600,690	
		仮払金回収収入	35,769,343	
		仮受金受入収入	2,000	
		建物等賃貸借差入保証金収入	5,273,000	
		法人負担金収入	9,670,657	
		学内負担金収入	9,670,657	
		内部資金収入	6,052,984,687	
		他部門からの繰入収入	6,052,984,687	
		小計	12,889,758,377	
		受取利息・配当金収入	73,088,346	
		第3号基本金引当特定資産運用収入	8,348,300	
		その他の受取利息・配当金収入	64,740,046	
	過年度修正収入	25,749,743		
	その他の活動資金収入計	12,988,596,466		
	支出	借入金等返済支出	1,028,000,000	
		返済期限が1年以内の長期借入金支出	1,028,000,000	
		第3号基本金引当特定資産繰入支出	1,000,000,000	
		退職給与引当特定資産繰入支出	3,000,000,000	
		奨学貸付金支払支出	95,060,000	
		預り金支払支出	680,183,402	
		仮払金支払支出	32,594,908	
		仮受金支払支出	1,149,708	
		法人負担金	270,638,293	
		法人分担金支出	124,120,000	
		学内負担金支出	146,518,293	
		内部資金支出	6,052,984,687	
		他部門への繰入支出	6,052,984,687	
小計		12,160,610,998		
借入金等利息支出		24,661,140		
借入金利息支出	24,661,140			
過年度修正支出	84,902,186			
その他の活動資金支出計	12,270,174,324			
差引	718,422,142			
調整勘定等	46,047,310			
その他の活動資金収支差額	764,469,452			
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 3,141,572,435			
前年度繰越支払資金	12,551,903,426			
翌年度繰越支払資金	9,410,330,991			

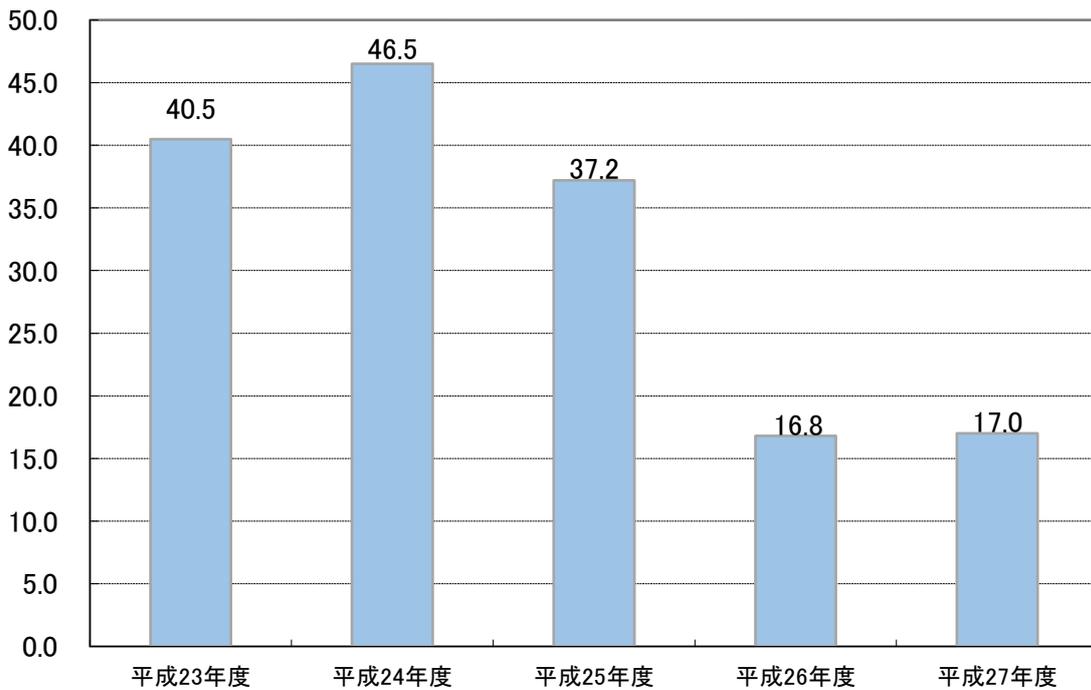
活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位 円)

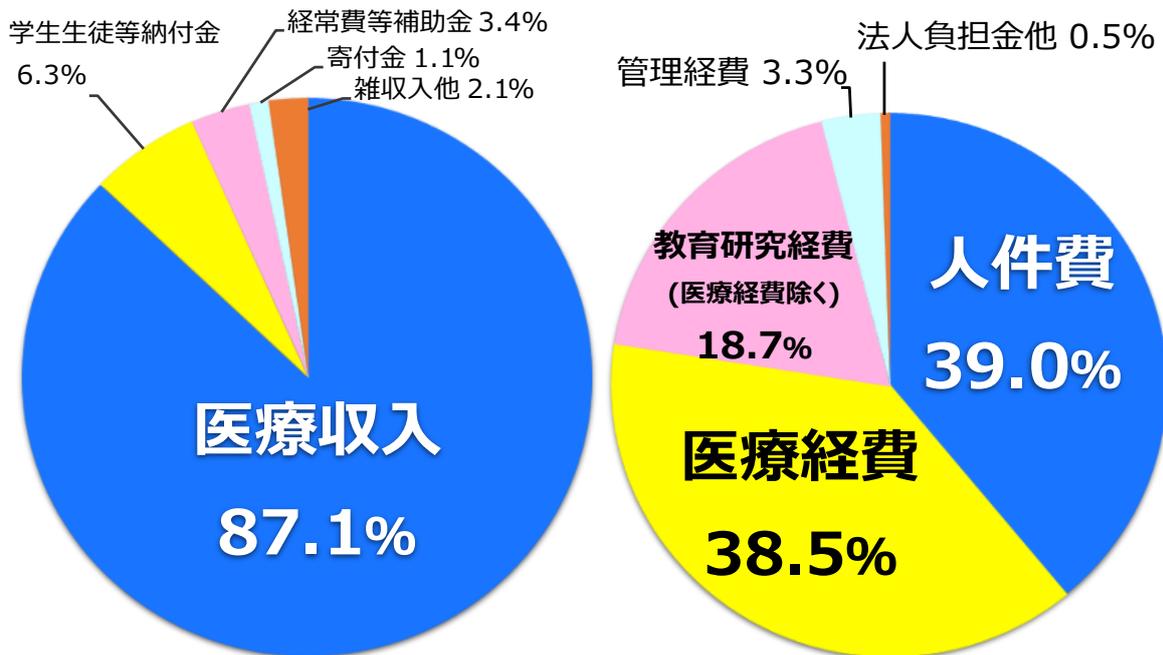
項 目	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	1,284,265,337	1,284,265,337	0	0
授業料 前受金 収入	488,450,000	488,450,000	0	0
入学金 前受金 収入	233,250,000	233,250,000	0	0
実験実習料前受金収入	35,400,000	35,400,000	0	0
施設設備資金前受金収入	22,100,000	22,100,000	0	0
教育充実費前受金収入	492,050,000	492,050,000	0	0
補助活動前受金 収入	900,000	900,000	0	0
諸収入 前受金 収入	12,115,337	12,115,337	0	0
前期末未収入金 収入	12,674,390,241	12,363,528,025	308,596,000	2,266,216
資金収入調整勘定 (△)	△ 16,205,464,106	△ 15,874,307,770	△ 329,249,000	△ 1,907,336
期末 未収入金 (△)	△ 14,713,816,809	△ 14,382,660,473	△ 329,249,000	△ 1,907,336
前期末 前受金 (△)	△ 1,491,647,297	△ 1,491,647,297	0	0
収入計	△ 2,246,808,528	△ 2,226,514,408	△ 20,653,000	358,880
前期末未払金支払支出	10,774,733,340	7,341,937,292	3,175,474,394	257,321,654
前 払 金 支 払 支 出	1,420,689,983	1,385,161,039	14,051,455	21,477,489
資金支出調整勘定 (△)	△ 13,719,322,917	△ 9,576,520,847	△ 3,818,314,497	△ 324,487,573
期 末 未 払 金 (△)	△ 12,360,265,739	△ 8,249,716,038	△ 3,805,144,970	△ 305,404,731
前期末 前払金 (△)	△ 1,359,057,178	△ 1,326,804,809	△ 13,169,527	△ 19,082,842
支出計	△ 1,523,899,594	△ 849,422,516	△ 628,788,648	△ 45,688,430
収入計 - 支出計	△ 722,908,934	△ 1,377,091,892	608,135,648	46,047,310

単位: 億円

### 基本金組入前当年度収支差額推移表



### 平成27年度決算 事業活動収支の科目別構成比

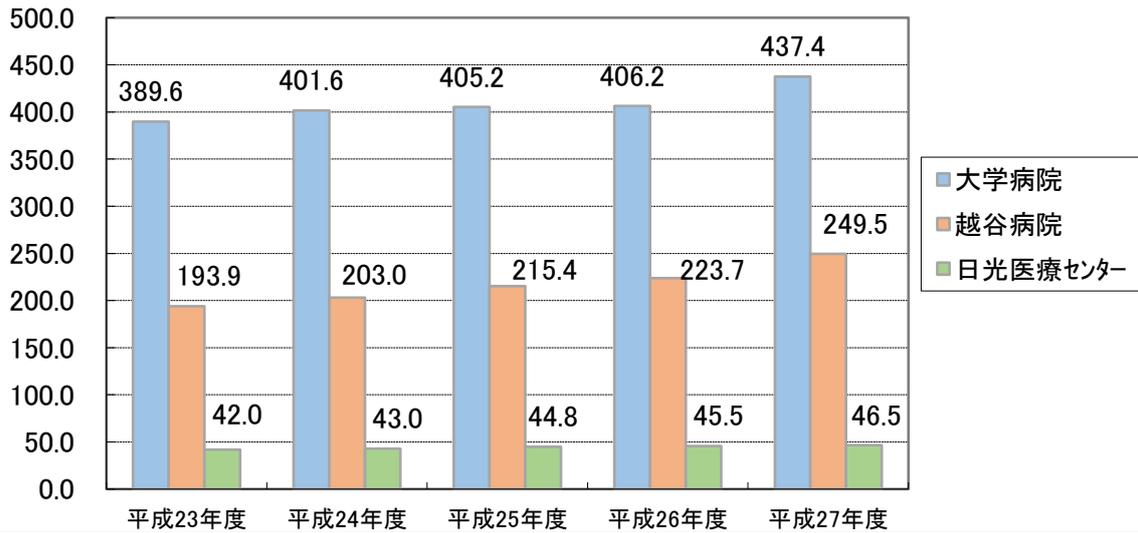


事業活動収入 84,244百万円

事業活動支出 82,540百万円

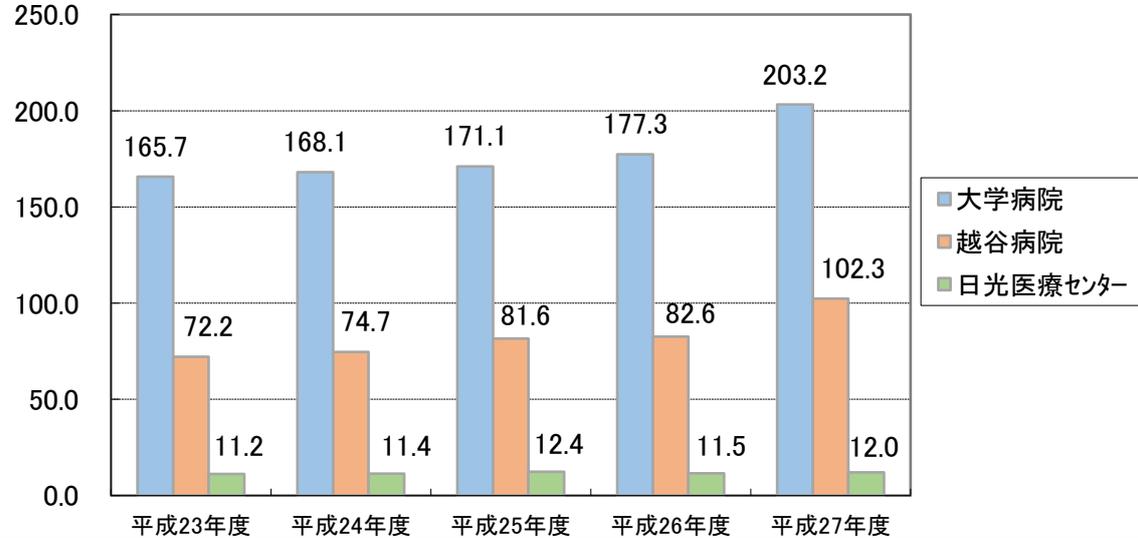
単位:億円

### 医療収入推移表



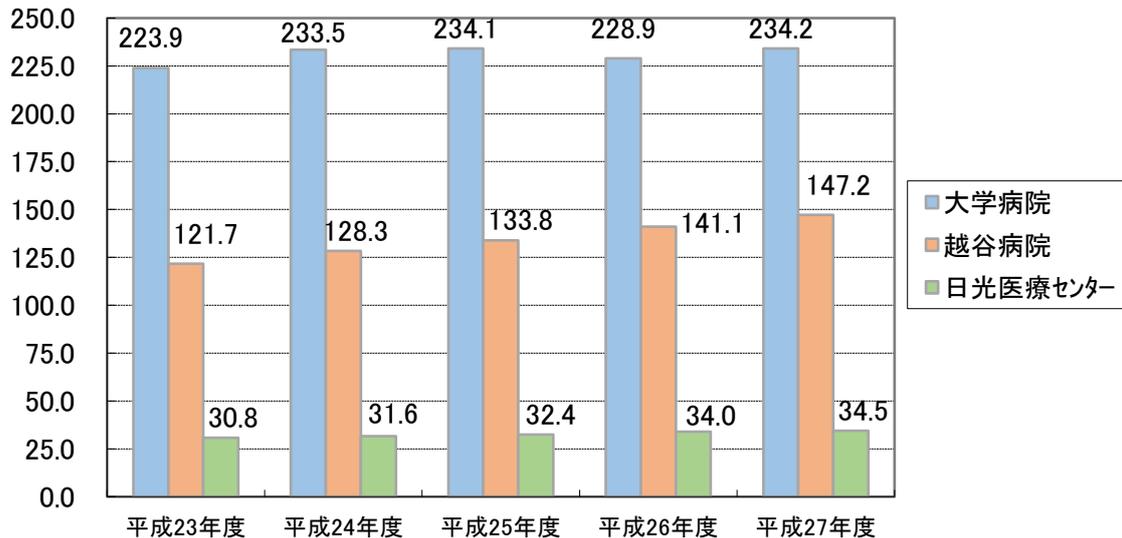
単位:億円

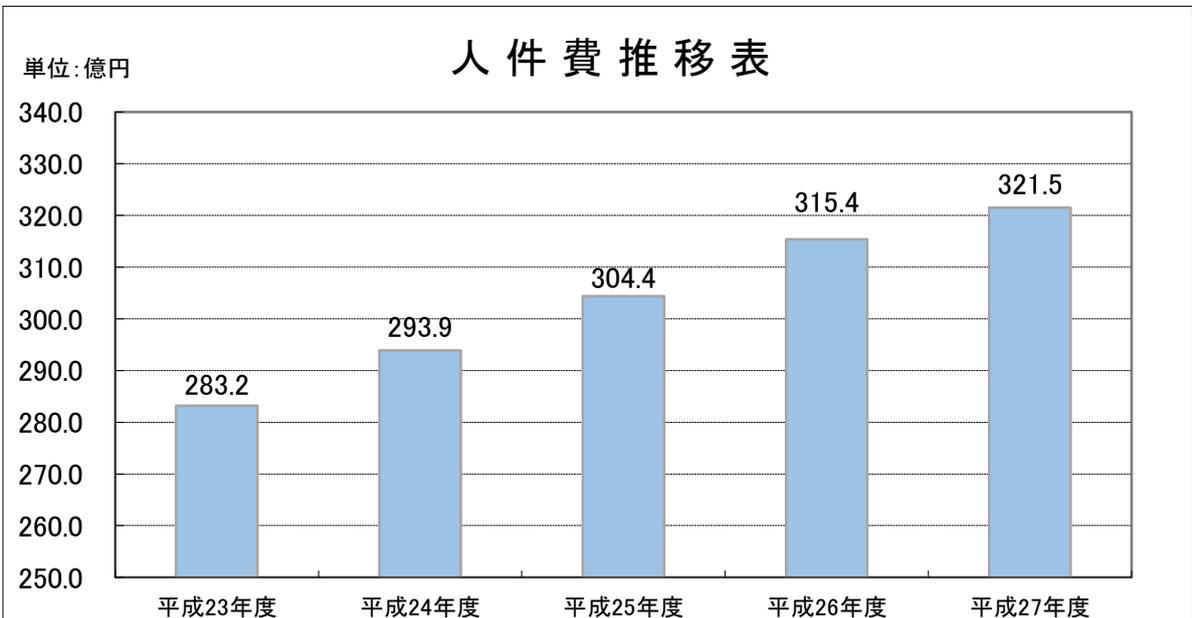
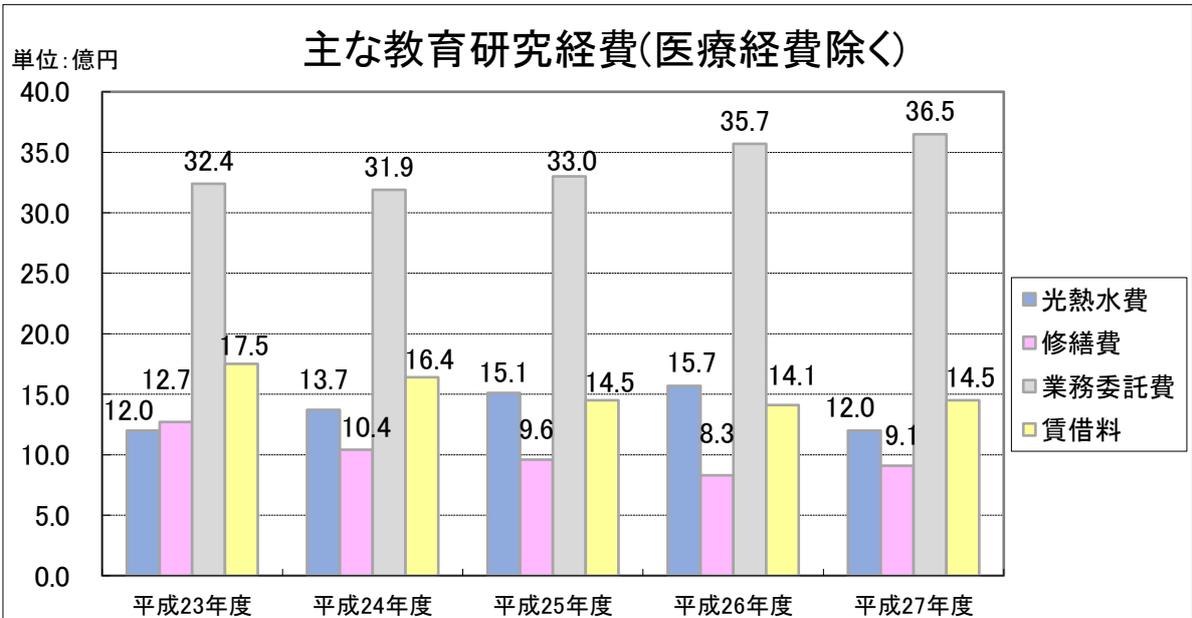
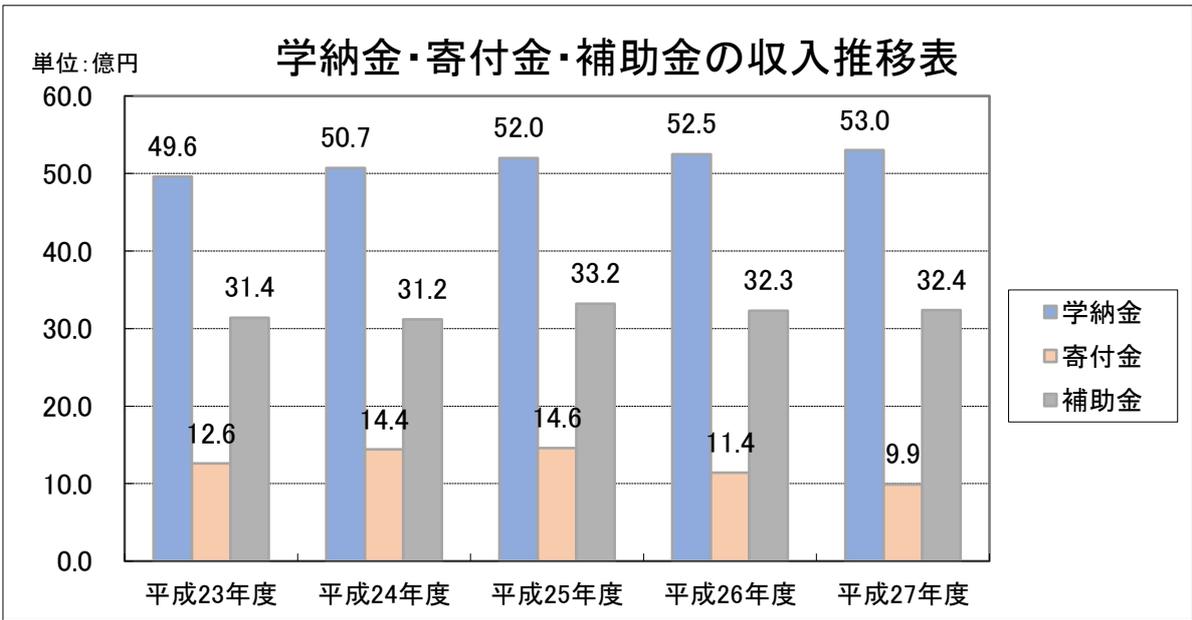
### 医療経費推移表



単位:億円

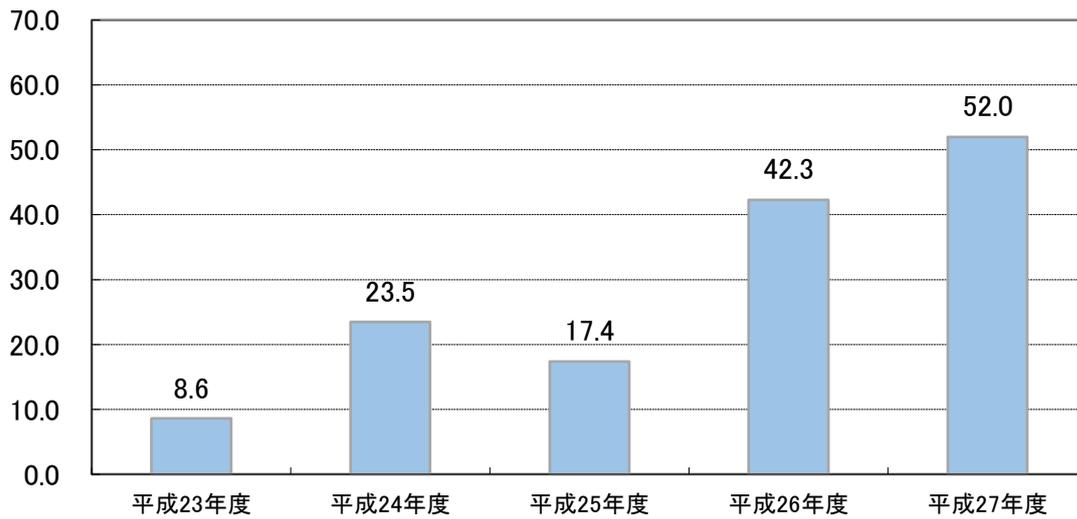
### 医療粗利益推移表





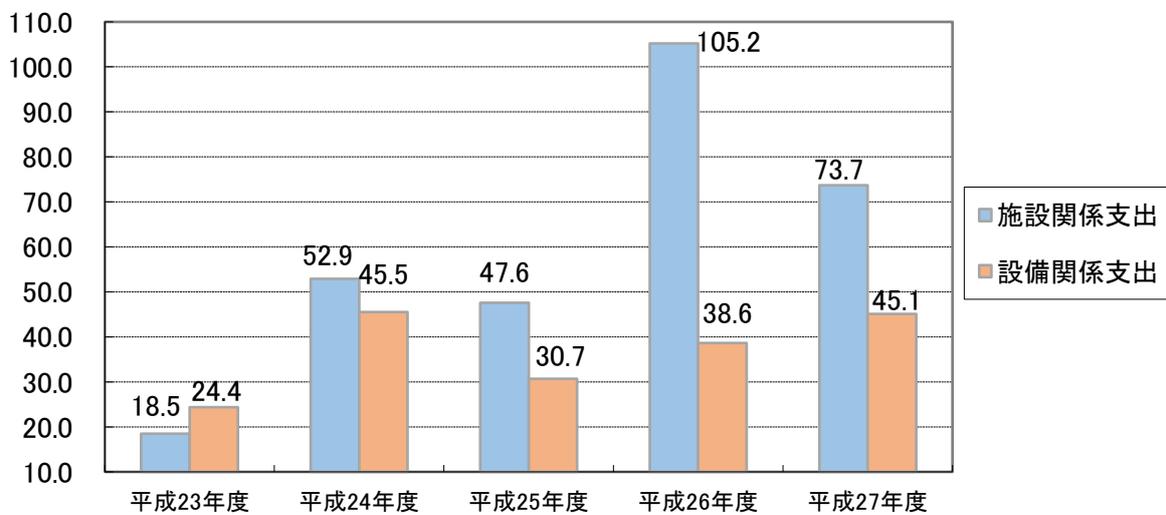
単位: 億円

## 借入金残高



単位: 億円

## 施設・設備関係支出推移表



単位: 億円

## 翌年度繰越支払資金

